

ClO₂燻蒸による室内の 殺菌と換気の比較

10畳の休憩室の付着菌試験

オフィスの休憩室（約10畳）で付着菌の殺菌効果を検証。

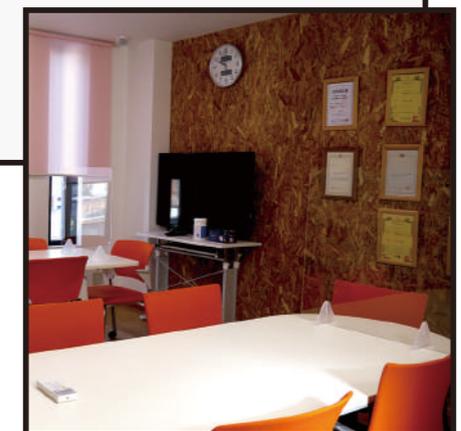
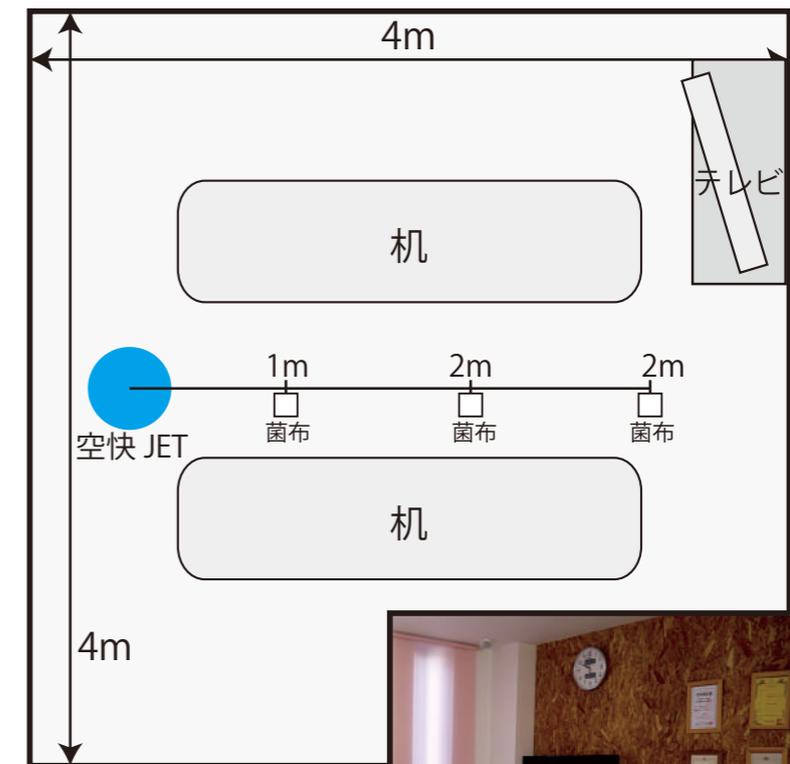
容積は約40m³。使用した空快JETはLを2つ使用。

30分室内を閉鎖し、30分後の二酸化塩素濃度は約2.5~4ppmでした。

試験手順

- ①10⁶以上に菌液を調整した不織布を、空快JETから一定の距離を置いて設置。
- ②くん蒸時間は30分。30分後ガス検知管で二酸化塩素濃度を測定し、菌布を回収。
- ③生理食塩水に菌布を揉み出し、一般生菌用およびサルモネラ菌用の培地に滴下し培養後菌数を生残菌数を調べた。

付着菌種	検体	生残菌数					殺菌率
		0m	1m	2m	3m	平均	
一般生菌	対照	3.3×10 ⁷	7.0×10 ⁶	3×10 ⁶	1.0×10 ⁷	8.2 ×10 ⁶	-
	空快JET	28	12	56	94	48	99.99%<
サルモネラ	対照	1.4×10 ⁶	5.6×10 ⁶	9.1×10 ⁶	5.7×10 ⁶	5.5×10 ⁶	
	空快JET	18	11	47	57	33	99.99%<



試験場所

空快JETは、菌布に付着した菌に対して、99.99%以上の高い殺菌効果が得られました。

10畳の休憩室の付着菌試験

オフィスの休憩室（約10畳）で浮遊菌に対する殺菌効果を検証。

培養した菌液を超音波式加湿器とサーキュレーターを用いて、室内に拡散。
その後、ClO₂燻蒸材を使用。使用前および換気後の浮遊菌をエアサンプラーで捕集

空間容積 約40.5m³（10畳×2.5m）

菌液噴霧量 約1.5L（2台：250ml/h・300ml/h／2時間半）

菌量 10⁶以上

エアサンプラー

サンプリングレート 50L/min

ボリューム 3000L

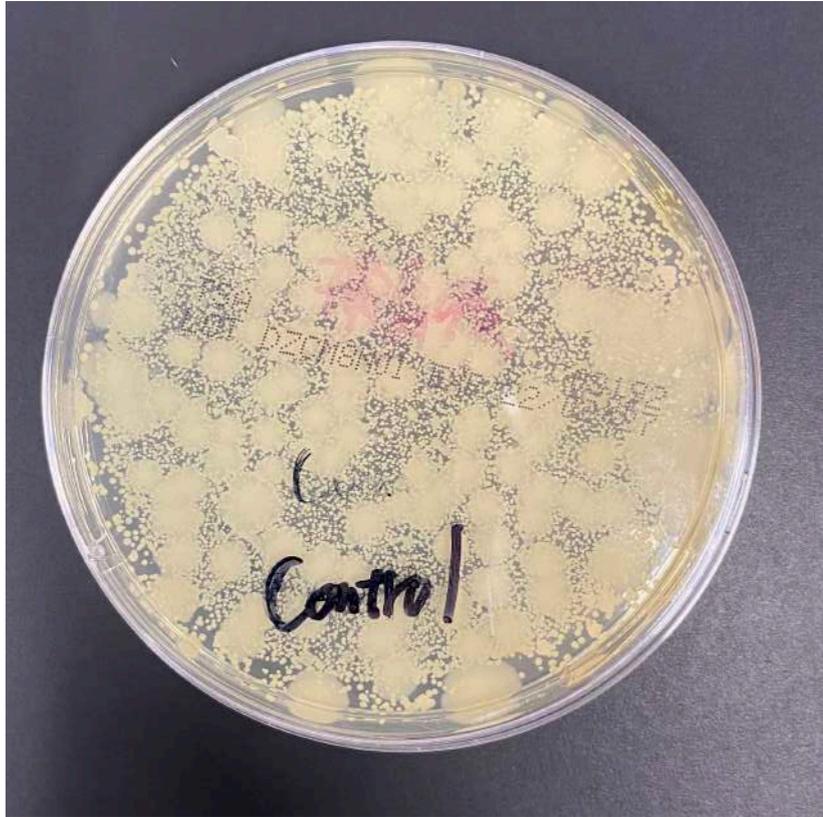
回収時間 60min



試験手順

1	菌液噴霧
2	対照サンプリング
3	燻蒸 (30分)
4	燻蒸後サンプリング
5	換気30分
6	換気後サンプリング

試驗結果



对照
計數不能



燻蒸後
55cfu/3m³



換氣後
37cfu/3m³